

令和4年度建設労働災害防止大会をオンライン開催

高田河川国道事務所工事安全対策協議会は、9月29日（木）、「建設労働災害防止大会」を新型コロナウイルス感染拡大防止として、オンライン開催しました。

この大会は、毎年9月第4週の北陸地方整備局「建設労働災害防止週間」活動の一環として、発注者・受注者が一堂に会し、工事現場における労働災害の撲滅を図ることを目的に行っているものです。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインでの開催とし、受注者の工事担当者、安全対策協議会役員、監督支援業務担当技術者、事務所職員など、約80人が参加、安全への意識を再確認するとともに、労働災害のない安全で安心して働ける職場環境の形成を目指して邁進することを確認しました。



安全管理に努め、地域の安全・安心を支える



開会の挨拶で堀会長（高田河川国道事務所長）は、「建設産業は社会資本の整備や維持管理を行い、地域の経済、雇用を支える基幹産業であるとともに、災害発生時にはいち早く現場に駆けつけ、応急対策、復旧作業に取り組むなど、地域の安全・安心を支える重要な役割を担っている。管内ではこれまでに労働災害3件、公衆災害0件が発生し、前年同期比より労働災害が1件多く、公衆災害が3件少ない。

本大会を契機とし、関係者一丸となって、安全確保への取り組みをお願いしたい。工事最盛期を迎え、また、降雪期を控え気候も厳しくなるので、これまで以上に気を引き締めて、新型コロナウイルス感染症対策にもしっかりと取り組み、安全衛生管理を行うことが求められる。」と、呼びかけました。

講演「建設業における労働災害の防止に向けて」

上越労働基準監督署 柳労働基準監督官

上越労働基準監督署の柳労働基準監督官には、ご挨拶に引き続き、「建設業における労働災害の防止に向けて」と題してご講演をいただきました。

上越労働基準監督署管内では、建設業において、48件の労働災害（前年比+9件）、1件の死亡事故（前年比±0件）が発生したとの報告がありました。

労働災害防止のために新型コロナウイルス感染症対策、STOP転倒災害プロジェクト、交通労働災害防止、はしご・脚立災害について、説明されました。



安全優良受注者表彰の取組事例報告

9月12日に令和4年度の北陸地方整備局安全管理優良受注者表彰があり、北陸地方整備局管内で17者が表彰されました。

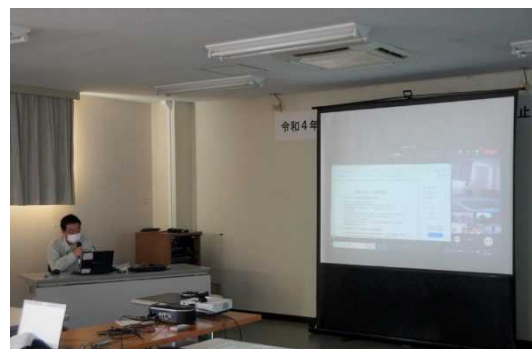
高田河川国道事務所安全協議会員からは、「直江津 BP 安江地区道路改良工事」を施工した（株）大島組、「令和2年度高田管内無線中継所非常用発電機更新工事」を施工した（株）八重電業社が受賞されました。大会では受賞披露と、安全管理に対する取組事例報告をしていただきました。

「直江津 BP 安江地区道路改良工事」



取組事例報告をする（株）大島組の小林さん

「令和2年度
高田管内無線中継所非常用発電機更新工事」



取組事例報告をする（株）八重電業社の齋藤さん

安全十訓、安全宣言を採択

(株) 植木組の土井さんの発声により参加者全員で「安全十訓」を確認しました。安全十訓の唱和については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、唱和を取り止めとしました。その後、(株) 谷村建設の猪又さんから、「一人の被災者も出さないため、本大会を契機として安全管理の原点に立ち返り、労働災害のない安全で安心して働ける職場環境の形成を目指す」と、安全宣言を提案、採択しました。



(株) 植木組の土井さんより安全十訓の発声



(株) 谷村建設の猪又さんが安全宣言の提案

閉会挨拶

閉会の挨拶に立った、西田副会長（西田建設（株）代表取締役）より、

「建設業は、多くの皆様の協力、支援により成り立っており、業務を遂行する上でコミュニケーションが非常に大切です。

各々の現場で計画したことをしっかり実行出来るようコミュニケーションをとりながら、2022年度残り6カ月、厳しい時期になってきますが、労働災害ゼロを目指して活動していただきたい。」と挨拶があり、本大会を終了しました。

